



●平成17年6月19日までの受付分(敬称略)
※この欄への掲載を希望しない人は、届け出のときに窓口へお申し出ください。

結婚 いつまでもお幸せに

夫氏名(地区)	妻氏名(地区)	届出日
南山 和也(神代)	荒川 香織(徳島県)	5月20日
北井 一也(福良)	亀井理恵子(神戸市)	5月21日
森長 慶太(松帆)	榎本 梨絵(松帆)	5月21日
富士元 秀樹(榎列)	池田 綾子(阿万)	5月30日
木下 浩輔(市)	王 杉(中国)	5月30日
久留米 修一(福良)	坂口 由子(倭文)	5月30日
太田 晃良(志知)	中田 絵美(灘)	5月31日
齋藤 裕樹(潮美台)	丹野 留菜(淡路市)	6月6日
川添 卓也(阿万)	小田 明子(洲本市)	6月16日

まちの動き

- 人口 54,466人(前月比-18人)
- (男) 26,298人(前月比-8人)
- (女) 28,168人(前月比-10人)
- 世帯数 18,003世帯(前月比+23世帯)

※平成17年6月1日現在

◆訂正とお詫び
広報6月号13ページ、スポーツ大会結果で「第3回淡路島軟式少年野球連盟会長杯大会」の2位が「北阿万少年野球クラブ」となりましたが、正しくは「阿万少年野球クラブ」です。訂正し、お詫び申し上げます。

出生 はじめまして すこやかに

赤ちゃん	性別	保護者	地区	出生日
堀部那奈美	女	元次	榎列	5月10日
谷間祐月	女	正和	福良	5月13日
陶山祐月	男	祥	鳥取県	5月14日
奥田青葉	男	均	広田	5月14日
嶋田光夏	女	正和	神戸市	5月16日
小坂彩絵	女	健次	倭文	5月20日
細川拓真	男	博史	八木	5月20日
濱田聖馬	男	陽聖	神代	5月21日
荒瀬衣織	女	勇次郎	市	5月23日
榎本小夏	女	昌生	市	5月23日
角村愛依	女	哲也	榎列	5月24日
南和花	女	芳広	八木	5月25日
三輪みらの	女	智久	福良	5月26日
武田電昇	男	忠義	広田	5月26日
前平華	女	行正	志知	5月26日
稲葉優	女	義昭	大阪府	5月27日
増田凛	女	隆之	神代	5月29日
濱口築	男	昭彦	松帆	5月30日
中川慈喜	男	元喜	北阿万	6月4日
桂優斗	男	正和	福良	6月4日
安富貴	男	正彦	松帆	6月6日
堂蘭連	男	匡	大阪府	6月7日
北崎あり	女	雅晃	阿万	6月8日
納けん心	男	一也	潮美台	6月9日
濱口廉	男	三治	榎列	6月11日
入野叶	女	央	八木	6月12日
田辺げん気	男	雄二	松帆	6月15日



子育て広場

【開設時間】午前9時～午後1時
■南あわじ市子育て学習センター
みどり ☎44-3008 開設日：月・火・水・金
せいだん ☎37-3028 開設日：月・火・木・金
みはら ☎42-7703 開設日：火・水・木・金
なんだん ☎50-3048 開設日：月・火・水・金

正しく着用して
チャイルドシート
六歳未満の乳幼児にチャイルドシートが義務付けられて五年が経過します。慣れからいい加減な装着になってきていませんか？
意外に多いのが助手席で母親が赤ちゃんを抱えているケースです。時速四十キロメートルで他の車と衝突した場合、母親は絶対に赤ちゃんを抱えている



▲親子水泳教室(子育て学習センターせいだん)

れません。母親は千五百キログラムの重いかたまりとなり、同時に時速二百〜三百キロメートルのスピードで膨らむエアバックとの間で赤ちゃんを板ばさみにしてしまうのです。これが一秒にも満たないわずかな瞬間に起こります。
チャイルドシートを装着していれば助かったのに...。そんな後悔だけはしたくありません。じゃまくさいときもあるでしょうが「車に乗せる」チャイルドシート」と、もう一度習慣化しましょう。
(子育て学習センター せいだん 川西淳子)

ハートブリッジ・メンバーズ
地域のおじさん・おばさん運動
「わたしの子ども」から「わたしたちの子どもたち」へ

先日、ある若いお母さんから電話がありました。「私も地域のおじさん・おばさんに登録させてもらいたいのです」ということでありました。自分のできることから地域の子どもたちに関わり、つながりを持ちたいという。そんな思い願いを持った大人が校区社会に一人でも多くなれば、きっと子どもたちの笑顔とコミュニケーションが豊かになり、南あわじ市が明るくなり、南あわじ市が明るくなり、南あわじ市では「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに「みんなであつくり、子どもが育つ地域社会」を目標に、ハートブリッジメンバーズ「地域のおじさん・おばさん運動」を展開しています。皆さんも登録して運動に参加してください。

子どもは大人を映す鏡
「映るとも思わず 映すとも思わず 映る月と水」
興福寺の僧が猿沢の池の辺りを散歩していたときに詠んだ歌だといいます。何気なく

水面に映る月の美しい光景にはと気づいたのでしよう。後に、この歌に秘められている奥義に感服し、柳生新陰流の極意歌となりました。「子どもは大人(社会)を映す鏡」と言います。まさに子どもの問題は大人自身の問題なのです。そんな考えにたつてみると、私たち大人がしなければならぬことがあまりにも多いことに気づきます。
「子どもが変われば大人が変わる」という事象は確かに存在します。子どもに教えられるとか、子どもから学ぶという大人は、日ごろ子どもをひとりの人間として尊重している心の表れからであると思えます。いずれにしても「子どもが変われば大人が変わる」ということは逆立ち現象であると思えます。
改革の原動力
竜馬は「改革の原動力は、どの子にも目をかけ声をかけ愛をかける」
7月は「第55回社会を明るくする運動」
「青少年の非行防止に取り組み」強調月間です